

令和5年度進行管理 戦略点検シート

◎基本政策 5 環境の保全と快適で安全なまちづくり

主要課題	No. 48	地域防災力の向上
-------------	--------	----------

● 4年後の目指す姿・計画期間の方向性 ●		主要課題の戦略シートで設定している「4年後の目指す姿」と「計画期間の方向性」を転記しています。
4年後の目指す姿	自らの命は自らが守る「自助」の意識や、地域での助け合いによって自分たちのまちは自分たちで守る「共助」の意識が醸成され、自助・共助に根ざした活発な取組により、地域の防災力が高まっている。	
計画期間の方向性	○区民の主体的な防災活動の促進 「自助」「共助」に根ざした、区民の主体的な防災活動を促進し、避難所運営協議会を中心とした地域の防災行動力の向上を目指します。 ○中高層共同住宅（マンション）に対する防災意識の啓発 中高層共同住宅においても、災害時に住民が安全に施設内にとどまることができるよう、エレベーター閉じ込め対策等、中高層共同住宅特有の防災対策を行うとともに、区民防災組織等とのコミュニケーション強化を図り、地域の防災力の向上につなげます。	

0 昨年度の施策の方向性（昨年度の点検における「4 今後どのように進めていくか」）	
コロナ禍が長期化する中、在宅避難の重要性についてより一層の周知を図るとともに、区民防災組織や避難所運営協議会が主体的に訓練に取り組めるよう、引き続き支援していきます。また、防災地図や各種ハザードマップを活用したイベントを開催するとともに、家具転倒防止器具設置や中高層共同住宅等防災対策の各種助成制度の周知を図ります。 今後の総合防災訓練や避難所運営訓練等についても、自助・共助の一層の醸成を図る訓練やライブ配信等を実施し、区民の防災活動を支援していきます。	

事業費（令和4年度） 上段：実績 下段：当初予算

1 どのような事業で・何をしたか（実績）		戦略シートの課題の解決手段として紐づけた計画事業について、「何をしたか」「何がどうなったか」を記しています。							
事業番号	事業名称	所管課	事業の持つ役割					事業費(千円)	
166	地域防災訓練等の実施	防災課	区民の防災意識の更なる啓発と、防災行動力の向上を図る。					29,640千円 (38,174千円)	
	主な取組実績		単位	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
	①	総合防災訓練参加者数	人	830	1,305	78	42	460	
	②	防災フェスタ参加者数	人	2,513	3,039	中止	中止	2,619	
	③	オンライン防災フェスタ参加者数	組(人)	—	—	301(843)	1,038(1,779)	272(581)	
	R3(2021)	謎解き要素を加えたオンライン版防災フェスタでは、地震対策編に加え、水害対策編も開催したほか、教育の森公園で実施した区民防災組織や警察・消防機関との合同での訓練映像等を、防災に関するクイズを交えて動画配信しました。							
R4(2022)	教育の森公園及び文京スポーツセンターにおいて、3年ぶりに防災フェスタを開催し、関係機関等の協力の下、区民の防災意識の向上につながるような啓発事業を実施しました。さらに、オンライン版の防災フェスタ（防災王）では、ハザードマップや防災ガイドを活用して、楽しみながら防災対策を学ぶ機会としました。								
167	避難所運営協議会運営支援	防災課	避難所としての防災行動力の向上を図る。					995千円 (2,197千円)	
	主な取組実績		単位	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
	①	避難所運営協議会の活動助成	件	10	8	5	6	8	
	②	防災士資格取得費用助成	件	7	0	12	13	3	

168	避難所開設キット事業	防災課	区民が円滑に避難所を開設できる環境を整備する。					484千円 (484千円)	
	主な取組実績		単位	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
	① 避難所開設キットを用いた訓練		回	8	13	5	4	18	
	R1(2019)	区内33か所の全避難所に配備している避難所開設キットを用いた訓練を実施するよう、各避難所運営協議会に周知するとともに、訓練で生じた改善点等を避難所開設キットに反映し、避難所運営に資する取組を実施しました。							
	R2(2020)	避難所運営ガイドライン「新型コロナウイルス感染症対策編」の内容に基づき、避難所開設キットに、避難所開設時の感染症対策についての手順を追加し、感染症に配慮した避難所開設方法を各避難所運営協議会に周知しました。							
R3(2021)	感染症対策を追加した避難所開設キットを用いて訓練を実施し、訓練で生じた改善点等を避難所開設キットに反映しました。また、関係部署間で調整を重ね、福祉避難所（13か所）や妊産婦・乳児救護所（4か所）に避難所開設キットを新たに配備しました。								
R4(2022)	避難所開設キットを用いた訓練を実施し、訓練で生じた改善点や避難所運営協議会からの意見等を踏まえ、キットの内容を見直しました。また、妊産婦・乳児救護所（4か所）において、避難所開設キットを用いた訓練を実施しました。さらに、福祉避難所については、避難所開設キットが配備されていない12施設に配備し、全ての施設に配備が完了しました。								
169	区民防災組織の育成	防災課	自助・共助による地域の防災行動力を強化する。					7,204千円 (10,987千円)	
	主な取組実績		単位	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
	① 区民防災組織等の活動助成		組織	52	70	12	32	37	
170	中高層共同住宅の支援	防災課	中高層住宅における防災対策を推進する。					2,384千円 (4,558千円)	
	主な取組実績		単位	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
	① 中高層共同住宅等の防災対策費助成		組織	35	47	10	32	23	
	② 中高層共同住宅等エレベーター閉込対策助成		件	5	10	3	2	4	
●特記事項（実績の補足）									

2 現総合戦略において、社会ではどのような動きがあったか（社会環境等の変化）		人口の増減や、国や都の動きなど、主要課題の背景に関して、令和2年度から5年度までの現総合戦略の計画期間において、「何があったか」「今後予想される」等の社会の変化を捉えています。
チェック	チェック項目	
有	主要課題に関連する法改正があった（今後、法改正がある）	
有	主要課題に影響を及ぼす変化等があった（今後、変化等の可能性がある）	
新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症に変更されたため、地域防災訓練等の感染症対策の見直しを検討する必要があります。		

3 現総合戦略における成果や課題は何か (点検・分析)

1と2に基づき、計画期間の方向性ごとに、令和2年度から5年度までの現総合戦略の計画期間において、「課題解決にどのような成果があったか」「成果が出ない要因は何か」「新たな課題が生じてないか」などを点検・分析します。

○区民の主体的な防災活動の促進

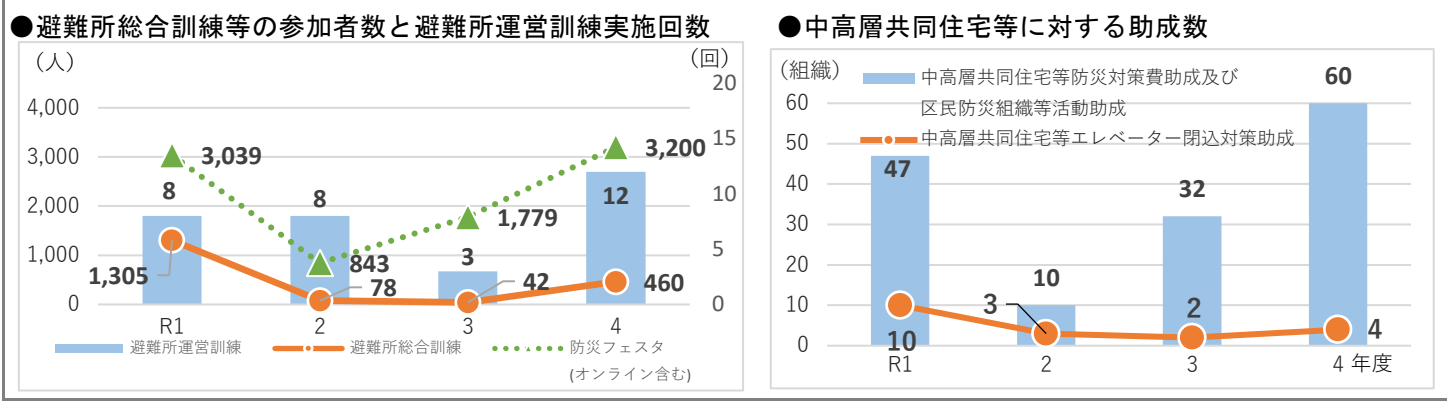
新型コロナウイルス感染症の拡大により、事業の中止や地域活動の縮小等が続く状況においても、総合防災訓練や避難所運営協議会等の機会を捉えながら、自助・共助の重要性や具体的な取り組み方法、区の助成制度の周知等に努めました。特に、感染症の拡大が長期化する中、対面によるリアルな訓練や防災宿泊キャンプ等に加え、オンラインによる事業を組み合わせることで、社会情勢の変化にも柔軟に対応しながら、区民の主体的な防災活動の促進を図ることができました。

今後も、区民防災組織や避難所運営協議会が主体的に防災活動に取り組めるよう、引き続き支援するとともに、防災活動の中心的な役割が期待されている防災士の活用を促進する必要があります。

また、避難所の感染症対策の見直しや感染症対策物品の活用を検討する必要があります。

○中高層共同住宅（マンション）に対する防災意識の啓発

中高層共同住宅における防災対策を促進するため、各種助成制度の周知に取り組んできましたが、今度、更なる対策の強化を図るため、エレベーター閉じ込め対策やマンホールトイレの設置に関する助成制度の拡充等を行います。これら助成制度の周知に加え、地域の防災活動において、中高層共同住宅と町会、事業所等が協力できる関係づくりが必要です。



4 次期総合計画において、どのように進めていくか (展開)

3を踏まえ、「何の対応が必要か」「何をどのようにしていくか」など、令和6年度から9年度までの次期総合計画の計画期間における戦略としての進め方を記しています。

近年頻発化・激甚化する災害へ対応し、新たに公表された首都直下地震等による東京の被害想定で明らかになった課題を克服できるよう、地域の防災活動を活発化させて自助・共助の一層の醸成を図ります。

また、在宅避難の重要性の周知と啓発を図るとともに、家具転倒防止器具設置助成事業や防災用品あっせん事業、中高層共同住宅等エレベーター閉じ込め対策事業、マンホールトイレの設置等の各種助成制度等の活用を推進します。

さらに、避難所で全ての避難者が日常に近い生活を行えるよう感染症対策の経験を活かし、避難所運営協議会と連携して避難所環境の改善・充実について検討を図ります。

加えて、防災地図や各種ハザードマップを活用したイベントを開催するとともに、区民防災組織や避難所運営協議会を中心として区民が主体的に訓練に取り組めるよう、社会情勢の変化にも柔軟に対応した総合防災訓練や避難所運営訓練等を実施し、区民の防災活動を支援していきます。

5 6年度、事業をどうするか (事業の見直し)

主要課題に紐づけられている個々の計画事業の6年度の検討の方向性を「継続」「レベルアップ」「見直し・縮小」「事業終了」「計画変更」で記します。

事業番号	計画事業名	所管課	次年度の方向性
166	地域防災訓練等の実施	防災課	継続
167	避難所運営協議会運営支援	防災課	継続
168	避難所開設キット事業	防災課	継続
169	区民防災組織の育成	防災課	レベルアップ
170	中高層共同住宅の支援	防災課	レベルアップ